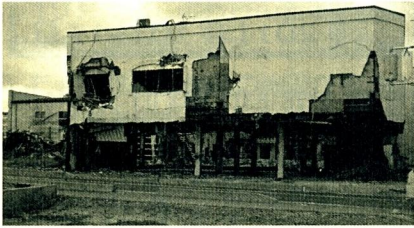


(2)

♪女子美術大との連携、幻想的なアトリエで復興願い力強く歌う「ふるさと」・・（「あとりえDaDa」にて）

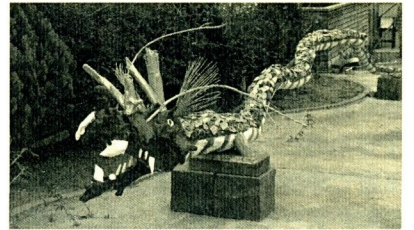


（「川辺の散歩道」のすぐ隣りも更地）

（「川辺の散歩道」のすぐ隣りも更地）



大学から石巻湾に向かって車で30分、旧北上川沿いは更に津波の被害の爪痕を残していました、1階の壁が流され柱がむき出しになったビルや家、家の基礎だけになった更地、陸に乗り上げたまま放置された漁船等、そのどれも目の前にして、立ち尽くすばかりでした。その中でいち早く画廊と喫茶店の営業を再開したのが、「川辺の散歩道～あとりえDaDa」です。ここを舞台に杉並区



の女子美術大のヤマザキ教授と鈴木理恵子講師と美大生は、地元の子供たちと津波で漂着した流木にペイントし「龍」を造るワークショップを行ったり、病院のヒーリングアート用に、クレヨン・水彩・パステルカラー・アクリルカラーといった様々な画材で、動物を布に描いたタペストリーを、演奏会場のアトリエに掲示してくださっていました。参加した女子美関係者は、ヤマザキ

ミノリ教授「アートデザイン表現学科ヒーリング表現領域」、鈴木理恵子講師、ヒーリング造形大学院学生～岡田樹、加藤祐子、洪恵娟（ホンヘヨン）、Jude《オーストラリア留学生》の6名です。中庭に設置された「龍」の体は色とりどりのウロコで覆われ、近づいて見ると、そのウロコ1枚1枚が色鮮やかで、「手をつないでがんばろう」などの復興を願うメッセージも書かれていて、思わず胸が熱くなりました。

40人程でいっぱいのアトリエに入って、日本フィルのメンバーは壁に掛けられた、色彩豊かに生き生きと描かれた動物たちのタペストリーに目を奪われました。この躍動感溢れる空間での演奏は、きっとお客様に生きる希望をもたらすのでは？と誰もが思いました。



（女子美術大学の皆さん）

午後4時、このアトリエを馴染みとする地元の方々が三々五々集まり、熱気に溢れています。「素敵な絵と日本フィルの演奏を皆さんで堪能し、元気になりましょう」三浦頼子オーナーの挨拶で、メンバーの入場です。お客様の年齢層に合わせ「荒城の月」、「エルチョコロ」、「イエスタディ」など懐かしい曲を中心に1時間はあっという間です。鎮魂の祈りを込めた「G線上のアリア」で、目頭を押さえ

る方が多くいらっしゃいました。アンコールの「ふるさと」は、お客様の心のこもった大きな歌声が会場いっぱいに響き、日本フィルメンバーも感極まった様子。もう一曲「青い山脈」は、大きな手拍子も加わり会場は大興奮！演奏直後に席を立ちながら拍手また拍手のスタンディングオベーション!!



（右ページ上へ続く）